

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

メロン栽培農家における重油焚き温水ボイラーから
木質バイオマス焚き温水ボイラーへの燃料転換事業

排出削減事業者名：遠州木質燃料利用組合

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	遠州木質燃料利用組合
排出削減事業を実施する事業所①	
事業所名	組合員①（三浦 裕喜）
住所	静岡県袋井市広岡 2017-2
排出削減事業を実施する事業所②	
事業所名	組合員②（船木 保）
住所	静岡県周智郡森町飯田 4063
排出削減事業を実施する事業所③	
事業所名	組合員③（伊井谷 晴雄）
住所	静岡県袋井市太田 460
排出削減事業を実施する事業所④	
事業所名	組合員④（小林 裕司）
住所	静岡県磐田市向笠竹之内 543-2
排出削減事業を実施する事業所⑤	
事業所名	組合員⑤（磯部 将紀）
住所	静岡県磐田市向笠新屋 210
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

メロン栽培農家における重油焚き温水ボイラーから木質バイオマス焚き温水ボイラーへの燃料転換事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、メロン栽培農家において栽培施設内の加温用温水の熱源となっている重油焚き温水ボイラー設備を木質バイオマス焚き温水ボイラー設備に更新することにより燃料転換を図るものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設の重油焚き温水ボイラーを木質バイオマス焚き温水ボイラーに更新することにより CO2 排出量を削減する。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

排出削減事業を実施する事業所数が 6 個所から 5 個所となった。

(第 1 回目実績報告の際に届出し承認済み)

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年4月1日

3.2 モニタリング対象期間

2016年4月1日 ～2017年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001-A	ボイラーの新設

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

該当なし

4.2.2 活動量の採用根拠

該当なし

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは各メロン栽培農家の木質バイオマス焚き温水ボイラー設備、燃料供給設備とそこから温水の供給を受けるメロン栽培施設である。

排出削減事業計画承認後に排出削減事業を実施する事業所 6 個所のうち組合員⑥が経営上の止むを得ない事由により本事業の対象外となったことに伴い排出削減量は残り 5 個所を対象に算定した。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値		モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
M-1	事業実施後（新設ボイラー）燃料の使用量	t/年	525.2		燃料供給会社からの燃料購入伝票及び、燃料購入量確認書	
M-2	事業実施後（新設ボイラー）燃料の単位発熱量	GJ/t	19.4（到着ベース、高位発熱量）		燃料供給会社からのスペックシート、文献	
M-3	事業実施後（新設ボイラー）ボイラー効率	%	組合員①	81.2	カタログ値	
			組合員②	81.0		
			組合員③	81.2		
			組合員④	81.0		
			組合員⑤	81.2		
M-4	ベースラインとして想定する化石燃料を燃料とするボイラーのボイラー効率	%	組合員①	82.6	カタログ値	
			組合員②	82.4		
			組合員③	82.6		
			組合員④	82.6		
			組合員⑤	82.6		
M-5	事業実施前の燃料の単位発熱量あたりのCO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0708（高位発熱量）		J-クレジット制度デフォルト値	
M-6	事業実施後（新設ボイラー）燃料の単位発熱	tCO2/GJ	0		J-クレジット制度デフォルト値	

	量あたりの CO2 排出 係数				
M-7	事業実施後の電力使用 量	kWh	13,778	燃料使用量、稼働時間、 補機定格から算定	
M-8	購入電力の CO2 排出 係数	tCO2/kW h	0.000531 (2015 年度、 全電源)	J-クレジット制度デフォ ルト値	

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

組合員①

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
1,941 (kWh)		0.000531(tCO2/kWh)	
EM _{PJ}			1.0 (t-CO2)

組合員②

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
3,030 (kWh)		0.000531(tCO2/kWh)	
EM _{PJ}			1.6 (t-CO2)

組合員③

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2,303 (kWh)		0.000531(tCO2/kWh)	
EM _{PJ}			1.2 (t-CO2)

組合員④

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2,886 (kWh)		0.000531(tCO2/kWh)	
EM _{PJ}			1.5 (t-CO2)

組合員⑤

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
3,619 (kWh)		0.000531(tCO2/kWh)	
EM _{PJ}			1.9 (t-CO2)

6.2 ベースライン排出量

組合員①

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
76.7 (t)	19.4 (GJ/t)	0.0708 (tCO2/GJ)	
81.2 (%)			
82.6 (%)			
447 (kWh)		0.000531(tCO2/kWh)	
EM _{BL}			103.8 (t-CO2)

組合員②

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
-----	-------	------	---------

109.85 (t)	19.4 (GJ/t)	0.0708 (tCO ₂ /GJ)	
81.0 (%)			
82.4 (%)			
893 (kWh)		0.000531(tCO ₂ /kWh)	
EM _{BL}			148.8 (t-CO ₂)

組合員③

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
91.00 (t)	19.4 (GJ/t)	0.0708 (tCO ₂ /GJ)	
81.2 (%)			
82.6 (%)			
530 (kWh)		0.000531(tCO ₂ /kWh)	
EM _{BL}			123.2 (t-CO ₂)

組合員④

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
104.65 (t)	19.4 (GJ/t)	0.0708 (tCO ₂ /GJ)	
81.0 (%)			
82.6 (%)			
1,277 (kWh)		0.000531(tCO ₂ /kWh)	
EM _{BL}			141.6 (t-CO ₂)

組合員⑤

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
143.00 (t)	19.4 (GJ/t)	0.0708 (tCO ₂ /GJ)	
81.2 (%)			
82.6 (%)			
2,497 (kWh)		0.000531(tCO ₂ /kWh)	
EM _{BL}			194.4 (t-CO ₂)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
該当なし			
EM _{BL}			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

組合員①

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM_{BL}	103.8
事業実施後排出量	(7.1)	EM_{Pj}	1.0
リーケージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	102

組合員②

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM_{BL}	148.8
事業実施後排出量	(7.1)	EM_{Pj}	1.6
リーケージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	147

組合員③

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM_{BL}	123.2
事業実施後排出量	(7.1)	EM_{Pj}	1.2
リーケージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	122

組合員④

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM_{BL}	141.6
事業実施後排出量	(7.1)	EM_{Pj}	1.5
リーケージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	140

組合員⑤

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM_{BL}	194.4
事業実施後排出量	(7.1)	EM_{Pj}	1.9
リーケージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	192

合計

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM_{BL}</i>	711.8
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM_{Pj}</i>	7.3
リーケージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量		<i>ER</i>	703

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2016年4月1日 ~ 2017年3月31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	525.2 t	10,189 GJ	262.9 kL